

「啓発者のための人権勉強会」(令和3年度事業)

開催募集要項

人権問題の深い理解に役立つ理論や概念、啓発の基本的技術を学び、啓発への活かし方を考える啓発者のための人権勉強会です。対象は人権学習会等を企画・運営したり、講師を務めたりしている方(人権啓発担当課職員、人権教育推進員、隣保館職員、教員、企業の人権啓発担当者、その他)です。

当センター職員のミニ講義等と意見交換を組み合わせ実施します。啓発とは何か、何をどのように啓発すればいいのか、そんな根本を改めて一緒に考えてみましょう。

学習テーマ (右から選択) ※裏面参照	① 改めて、人権って何だろう? - 憲法と世界人権宣言を中心に - ② 自己肯定感のギモン - 何がそんなに大切? どう育む? 人権問題との関係は? - ③ 自他を大切にコミュニケーション - アサーション(非攻撃的自己表現) - ④ 人権問題はなぜ起こる? - 社会的多数者/少数者の関係から見てみよう - ⑤ フツウの人が無意識に行う日常的な差別とは? - マイクロアグレッション - ⑥ 取扱注意のココロのしくみ - 差別にかり立てる社会心理とバイアスあれこれ - ⑦ ようこそ“ふらっとカフェ”へ! - ゆるくて深い対話型人権学習の可能性 - [実践] ⑧ 講演力 - 効果的なスピーチとスライド使用の基本 - [実技練習] ⑨ その他(啓発内容についての課題・疑問)※具体的内容は要相談
参加人数	3人以上 20人以下 (ただし、⑦は3人以上 10人以下)
進め方	講義、演習、ワークショップ、意見交換等を組み合わせて行います。
スタッフ	尾崎真理子(当センター上席専任研究員) 中江美紀(当センター専任研究員)
所要時間	1回 2~3時間程度 1団体・グループの利用は3回までとします。
会場	開催希望団体・グループのある市町村内 または鳥取県立人権ひろば21“ふらっと”の会議室(鳥取市扇町 21番地)
費用	無料。ただし、備品や機器、消耗品の一部について準備をお願いすることがあります。 ※当センター職員の謝金や交通費は不要です。
開催時期	令和3年7月~令和4年2月末 ※他所との開催希望時期の重なりや当センターの他事業の都合によって、調整させていただきます。
申し込み	[申込・問合せ先] 鳥取県人権文化センター(担当:尾崎・中江) TEL 0857-21-1712 FAX 0857-21-1714 Eメール osaki-m@tottori-jinken.org [申込期限] 令和3年6月30日(水) *5/28~31は事務所移転のためファックスがつかない場合があります。
備考	新型コロナウイルス感染防止について ・会場の感染防止策(換気、参加者の距離確保、消毒液の設置等)にご協力ください。 ・参加者にはマスクの着用と手洗いの励行等をお願いします。 ・感染拡大の状況によっては開催を中止することがありますのでご了承ください。

「次のなかから選択してください。」

学習テーマ	基本の内容 ※要望に応じて調整します
① 改めて、人権って何だろう？ －憲法と世界人権宣言を中心に－	人権教育・啓発の大前提、「人権」の基本を理解します。 ・人権とはなにか ・人権の具体的中身 ・人権の成立過程と今後 ・権利と義務の関係性 ・人権に関する国内外法の関係 他
② 自己肯定感のギモン －何がそんなに大切？どう育む？ 人権問題との関係は？－	自己肯定感について、既存の理論を元に議論します。 ・自己肯定感とはなにか ・自己肯定感の育まれ方 ・自己肯定感の高低が及ぼす影響 ・自己肯定感と人権啓発の場の関わり方
③ 自他を大切に作るコミュニケーション －アサーション (非攻撃的自己表現)－	人権尊重の基本姿勢に深く根ざすアサーションの要点を理解し、事例を使って演習します。 ・アサーションとはなにか ・成り立ちの歴史 (非抑圧者のエンパワメント) ・自分のコミュニケーションの傾向を探る ・アサーティブな表現の演習
④ 人権問題はなぜ起こる？ －社会的多数者／少数者の関係 から見てみよう－	人権問題はなぜ起こるのか、その背景を「特権」理論を元に考えます。また、社会的多数者と少数者との間の抑圧・排除の力学に気づき、問題解決に向かう方法を議論します。 ・特権とはなにか ・特権の具体例 ・特権が生まれる背景と多数者が特権を否定したい理由 ・特権をなくすために何が出来るか (アライの重要性)
⑤ フツーの人が無意識に行う 日常的な差別とは？ －マイクロアグレッション－	ごくフツーの個人が、自覚なく日常的に行ってしまう差別、「マイクロアグレッション」。その具体例やパターンを理解し、啓発の場での取り上げ方について議論します。 ・マイクロアグレッション (微細な攻撃) とはなにか ・具体例とパターン ・マイクロアグレッションが起こす被害 ・啓発の場での取り上げ方 (期待される効果と限界、留意点)
⑥ 取扱注意のココロのしくみ －差別にかり立てる社会心理と バイアスあれこれ－	さまざまな差別や人権侵害の背景にある私たちのココロの仕組みに焦点を当て、さまざまな社会心理やバイアスを事例と共に学びます。また、これらを差別に発展させないための方法を考えます。
⑦ ようこそ“ふらっとカフェ”へ！ －ゆるくて深い 対話型人権学習の可能性－ [実践]	ひとつのテーマ*について、意見の違いを大切にしながらゆったりかつディープに対話します。分かっているつもりのことであえて皆で考えてみるという対話の場そのものが、人権の理解と尊重につながります。 *開催者と相談して決定します。
⑧ 講演力 －効果的なスピーチと スライド使用の基本－ [実技練習]	講演の講師には、話す力とパワーポイントのスライド等を効果的に使う力が必要です。これらの基本ポイントと具体的なテクニックを理解し、実技を通して実践力を磨きます。 ・伝わるスピーチの基本 ・理解を助けるスライドの基本 ・実技とフィードバック
⑨ その他 (啓発内容についての課題・疑問)	上記以外のテーマで行います。詳しくはご相談ください。 ※テーマによってはご希望に添えないこともあります。